



滋賀新堀ギター音楽院の合言葉は”みんなで市民ギターオーケストラに参加しよう！”

10月生まれのリギター作曲家には有名ミゲル・リョベットがいます。1878年10月18日バルセロナで生まれました。ギターの父と言われるタルレガの唯一の後継者と呼ばれています。父が彫刻家で幼少から芸術的環境で育ちました。ギタリストの叔父の影響でギターに専念し、バルセロナの私立音楽学校に入学。同時期にチェロのカザルスも同校で学んでいます。演奏家として華々しい活躍をしましたが「アメリカの遺言」「盗賊の歌」などカタロニア民謡をギターの小品に仕立てた作品群はギタリストの宝となっております。



新堀ギターオーケストラ公演

かつて一緒に全国を回った西川氏、小林氏、ポーランドの音楽祭に呼んでくれたチャールズク氏、ドイツで演奏と教授活動をしている吉田氏、シンガポールのトーマス氏、奈良の坂本先生、岡山の中谷先生達と一緒にソロを担当。新堀先生の指揮で演奏したヴィヴァルディは、とてもスリリングで楽しかった。私の生涯の師である新堀先生は九十歳を迎えて尚、切れ味鋭い指揮で我々をのせてくれました。続いて自身が作曲したテーマをもとに大宮先生がピアノコンチェルトへと改作した「ワンダフルモーニング」は内外の品も加わった特別編成でスケール大きなサウンドが会場を満たしました。私も久しぶりに新堀のオケを指揮しましたが、一瞬で気持ちの通じ合うのを感じ、気持ちよく振れました。市民オケや教室の生徒さん15名がお出で下さいました。また花箋まで頂戴し、大変感謝です。



練習中にパチリ
西川満志、高村浩二、寺田和之、往年のコンマスが現役のオケメンバーと合流。ピアノの古賀夏美も加わり、半分同窓会気分の楽しい練習でした。

第三十回中部関西ギターフェスティバル

長い山道をうねうね登った所にしらさぎホールがありました。台風で、大会史上初めて開催延期となったフェスが、九月二十三日(祝)に行われました。日程が合わなく参加できなかった方は大変残念でした。独奏十三名、重奏五組、合奏十一組でした。

毎年のことですが、他の教室の人達の演奏を聴くのは良い刺激になります。滋賀からの参加者は皆さん持ち味を発揮して、しっかり演奏されました。独奏の佐野さん、重奏のスピカの皆さんとアンサンブルと市民オケが受賞しました。アンサンブルのオリジナル曲「七五三」好評でした。良いホールでしたが、生音のため若干聴きづらかったのが残念。開催延期という決断を下し、当日も少人数ながらしっかりとサポーターしてくれました。山内先生&津の皆さんに心より、御礼を申し上げます。来年は2025年8月31日京都です。



それゆけ市民ギターオーケストラ

最近、何に関してもマンネリ気味で年を感じているこの頃、市民オケでちよつと心が動いたことー

①三百人の大合奏で、アルトのメロディーが終わって伴奏に入った時、ステージから客席で演奏する打楽器の人達が見え、はつらつとした表情で楽しそうに楽器を鳴らす姿に感動し、一体感・高揚感を覚えました。小山先生のおっしゃる観客を感動させる演奏とはこのことなんだなと思いました。(観客になっっている...)

②曲に関して... 私も田畑さんや先生と同じ年代なのですが、ビートルズにはあまり関心が無かったです。「レットイットビー」の前奏、パツフェルベルのカノン風でとても気に入っています。(残念ながらアルトはそこお休みで...こゝでも観客になっっている...?)

③何時も近くで音が聞こえていた藤田さんが向こう側に移動されて、それも有りだなあと思っています。マンネリ打破のため、パート変更や新しいことに挑戦するのもいいかなと思っています。結局は何でも心がけ次第でしょうが...。

(アルト 北川)

滋賀市民ギターオーケストラ 10/12、26~アクティ近江八幡
ギターアンサンブル湖風 10/5、19~教室
ふなっこ合奏団 10/14、28 14:00~ 教室
あゆっこ合奏団 10/14、28 15:30~ 教室
<今後の予定>
12/14(土)...新堀ギタークリスマスコンサート
14:00開演 於、文芸セミナリヨ



10月の予定

11月の予定

月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

※網掛けの日はお休みです。黄色は時間を注意。
◎第5週目は基本的にレッスンはありません。